

R-18
Adult
Only

Happy
Ending

Happy Ending

来栖と菖蒲様が幸せになる本

R18

ADULT ONLY

成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止

**転載
禁止**

Reprint is prohibited.

無断転載・複製・複写・
Web上へのアップロード禁止

**オク
禁止**

Prohibition of resale.

ネットオークション・
フリマアプリでの転売禁止

海門での戦いから
2回目の春が過ぎ

おれ
己たちは顕金駅の
カバネを一掃し
駅の再興に奮迅した

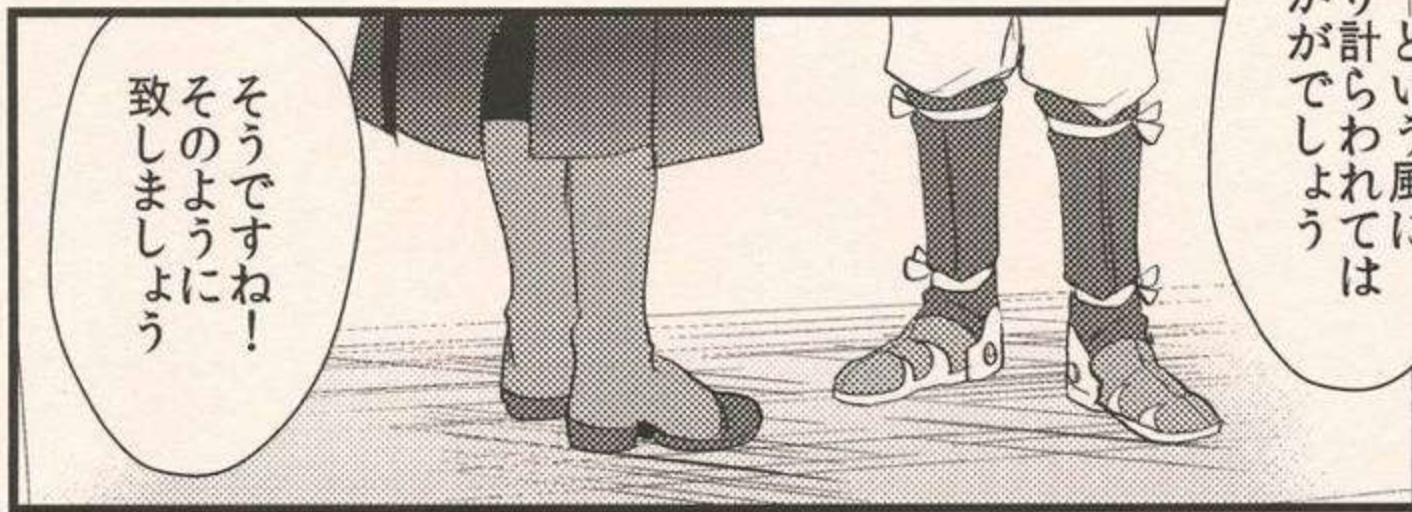
もちろんそれは
困難を極める
道のりだったが

ようやく少しずつ
平穏な日々を
取り戻しつつあった

そして――

それぞれの
関係も少しずつ
変化していく

だが己は――



そうですね！
そのように
致しましょう

——という風には
取り計らわれては
いかがでしょう



いつも
ありがとう



やはり来栖に
相談するのが
一番ですね



いいえ
滅相も
ありません



実は——



あの……
もう一つ
来栖に折り入って
相談があるのです



……

再興にあたり
ご支援いただき
駅のご領主様から
お話があり

ご領主様のご子息を
四方川家の婿に
どうかと…

つまり…
私の縁談話です

ああ…ついに

大変お世話に
なつたので
無下にお断り
するわけにも
いかず…

菖蒲様は
四方川家の惣領
でありいずれは
ご領主様と
なられる身

来栖は…

いずれは婿をとり
この頭金駅を統治
なさることは
分かっていた

分かっていた
はずなのに
己は—

菖蒲様にとって
己はただの
従者でしか
ないのだ

来栖は
どう思いますか？

おれ…私は—



菖蒲様のご縁談に
口をはさむ立場
ではございません

それでは来栖は
このまま縁談を
進めても
構わないと…？



あ、菖蒲様にとって
ふさわしい相手で
あるならば…

己は何を言ってる…



はっ

あ…





菖蒲様……っ

あつ……すまん

ごごめんなさい



あつ来栖
ここにいたか



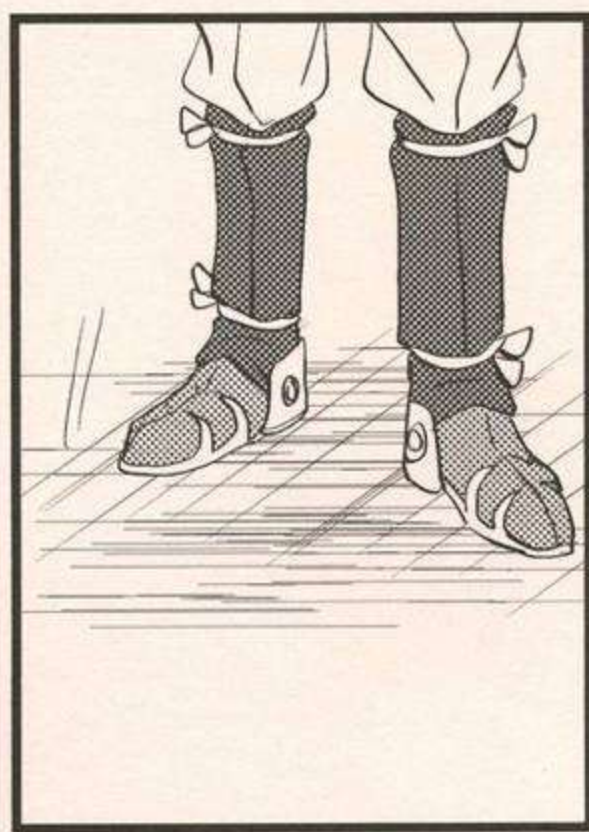
なぜ



菖蒲様……

泣いておられた？

菖蒲様の縁談話は
翌日には甲鉄城の
皆の噂になった







無名
己は

菖蒲さんが
かわいそう!

あんたが黙ってる
から好きでもない奴と
結婚しなきゃ
いけないなんて



真っ直ぐな
気持ちだけで

そう言える
お前が
うらやましい



私は鯁が
応援してく
れたけど!

あんたのこと
だって本当は
みんな応援
してるんだからね!

無名が言った
通りだった



来栖サーン
もしLoveの事デ
Troubleがアル
なら私がAdvice
しまシヨウカ?



来栖さん
俺で良かったら
話だけでも
聞きますよ?



菖蒲様最近
元気ありませんよ...

あの...
私が口出しする
ことじゃないのは
分かってるんですが



おせっかいな
やつが多すぎる

来栖
ここいいか?

吉備土
お前もか?



なるほど
皆お前のことを
心配してるんだな

余計なお世話と
いうものだ

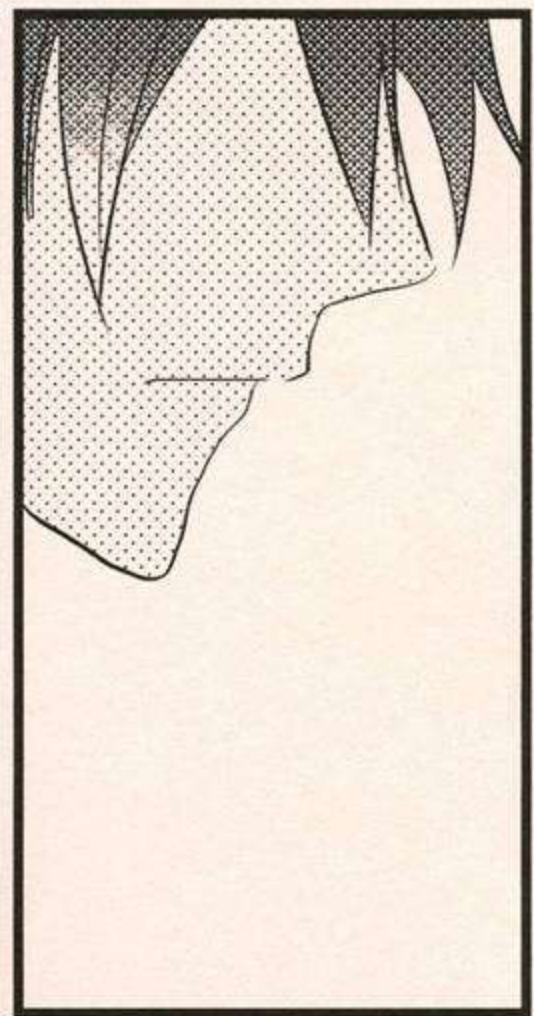
まあそういうな

そういえば
あの時菖蒲様は
泣いておられた
ようだった



縁談の話を
相談されて
「どう思うか」と
聞かれた

それでお前は
なんと答えたんだ



菖蒲様に
ふさわしい
人物であれば……と

来栖!
お前本気か

では己はなんと
言えば良かった
のだ!

菖蒲様にとって
己は一人の従者に
すぎないのだぞ!



菖蒲様が他の男と一緒になっても
そう言えるのか？

一介の武士として
そばで護り続ける
ことができるか？

己は菖蒲様さえ
幸せになつて
くだされば
それで…

その幸せを
他の男に手に
任せていいのか？



お前にとめて
欲しかったん
じゃないのか？

菖蒲様がお前に
相談したのは

なあ来栖

武士として
ではなく
お前自身は
どうしたいんだ



蛍か…



酔いがまわった
少し風に
あたってくる



まるで己だな



音も立てず
鳴くこともせず

ただ弱々しく
光をはなつて
愛しい相手を
探しているのか



菖蒲様…!



菖蒲様

こ、こんな所で
どうされたの
ですか？

眠れなくて…
来栖もですか？

来栖



静かに音も立てず
ただ光をはなつて
想いを燃やしている…

蛍の光は恋人を
探す光なんだ
そうですね



奥ゆかしくて
愛おしいと
私は思います





縁談の事：
来栖にたずねる
ことではありま
せんでした

この間は
ごめんなさい

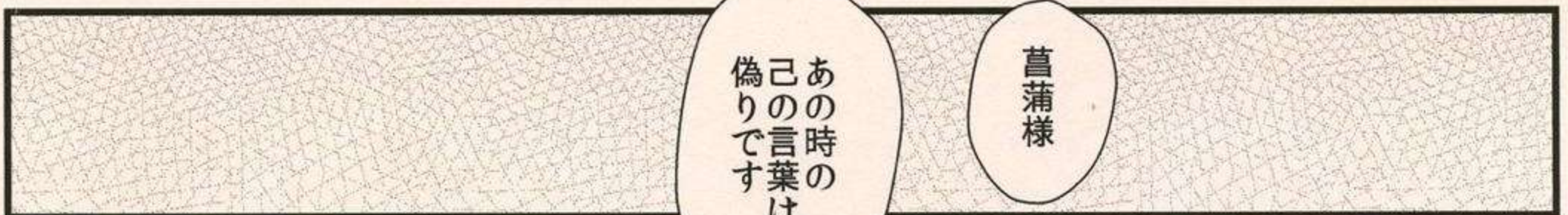
私自身が
決めなければ
いけないことなのに

来栖に答えを
押し付けようとして
しまいましたね



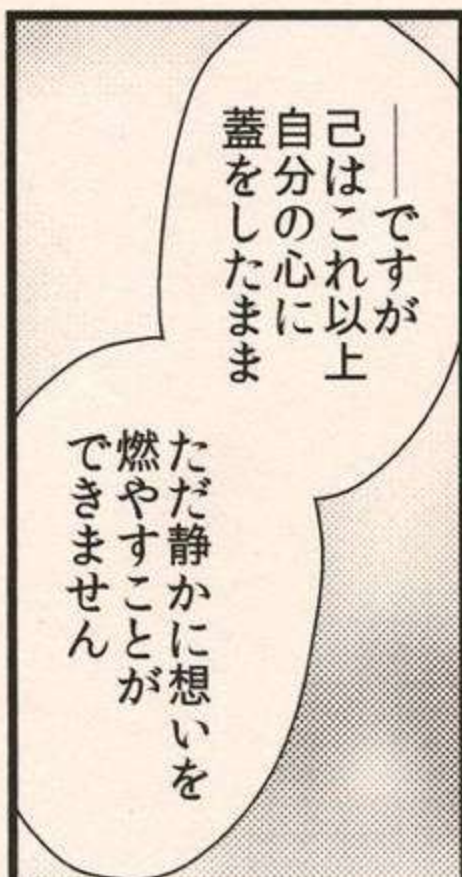
菖蒲様は
何も悪く
ありません！

己が答えを
出すことから
逃げていた
せいだ



菖蒲様

あの時の
己の言葉は
偽りです



—ですが
己はこれ以上
自分の心に
蓋をしたまま

ただ静かに想いを
燃やすことが
できません

一生
後悔するだろう



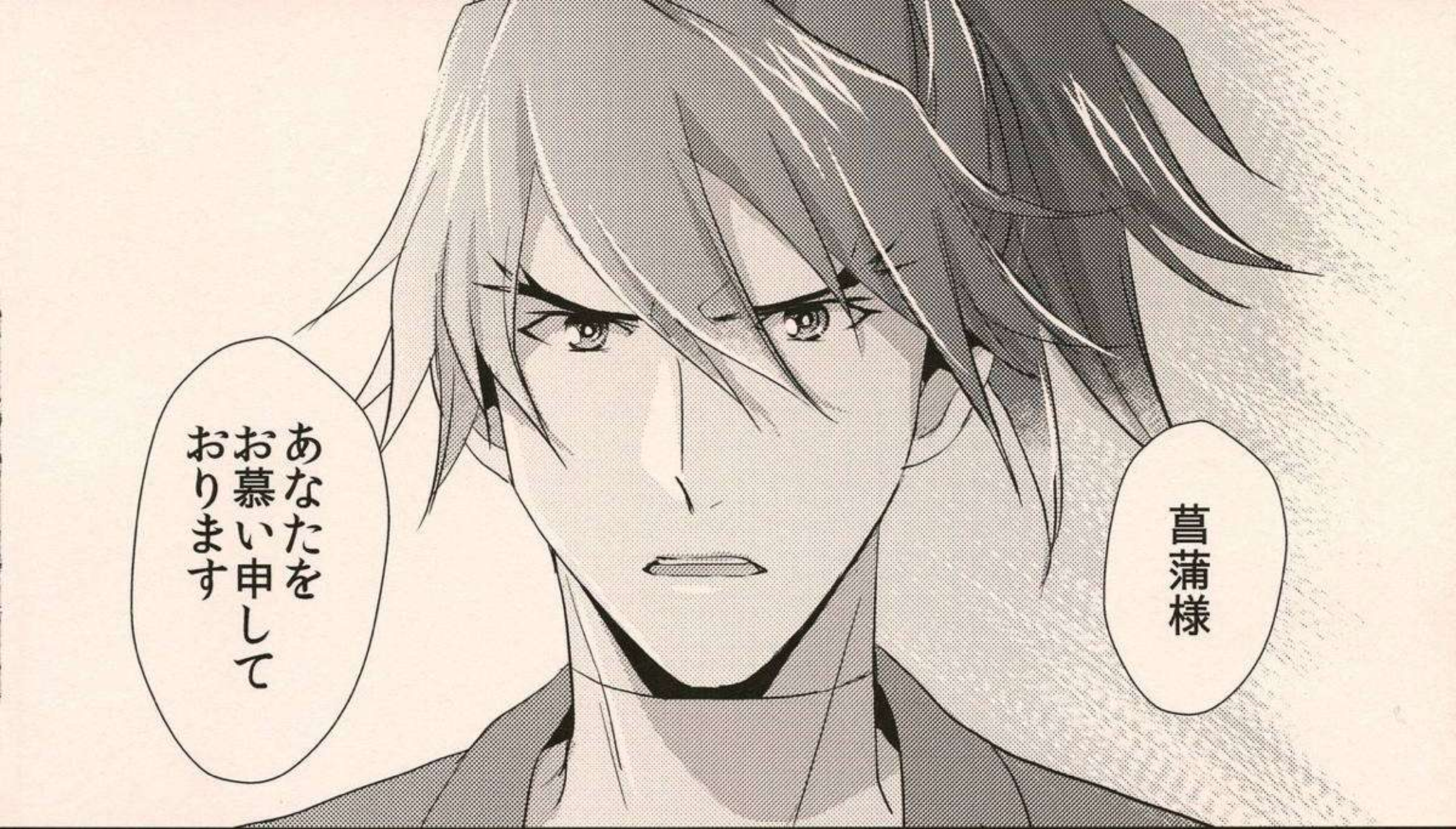
己は菖蒲様に
とつて一介の
従者であり

おそばで
お仕えることが
自分の使命であり
生き甲斐だと

私欲は捨てて
生きようと
思ってきました

今伝えないと
己は—

来栖…



菖蒲様

あなたを
お慕い申して
おります



菖蒲様に
お仕えした
その日から

ずっとあなた
だけを見て
きました



菖蒲様を

誰にも
渡したく
ありません



嬉しい…

それでは…
これからも
ずっとそばに
いてくれますか？



あ…やめたま…



従者として
ではなく—

私の夫として



ずっと
ずっとおそばに
おります

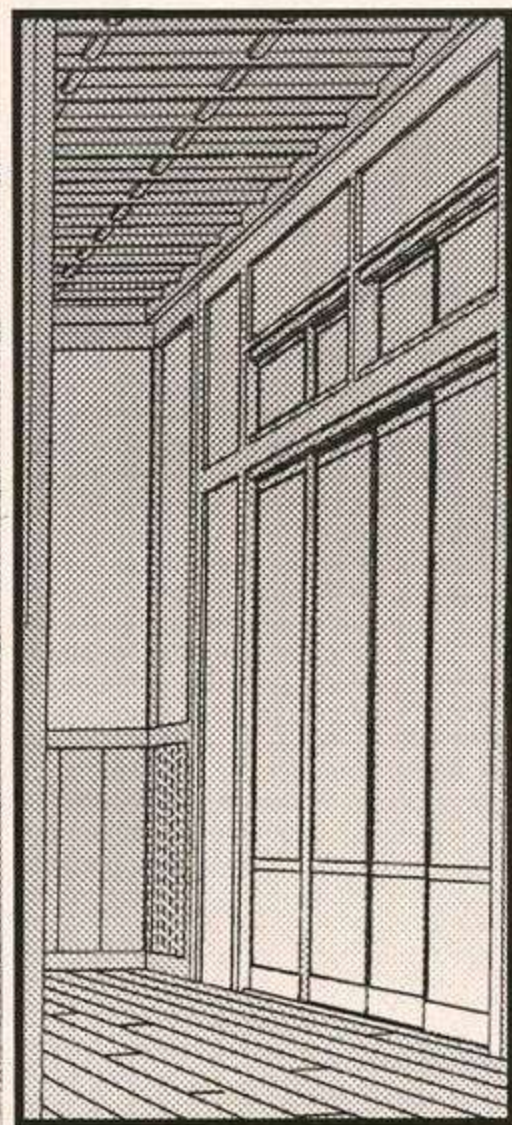
はいっ！



菖蒲様…
よろしいのですか？

契りを交わして
しまえば
縁談の話は
なくなります

いいえ
それ以上に



もう…
主従ではない
証しが欲しいのです



もう何年も
私にとって来栖は
ただの従者では
なかったのですよ

それなのに
来栖は赤くなる
ばかりで…
可愛かったですけど

そ、そんなに
赤くなつて
おりましたか！

菖蒲様が
己のことを…

来栖



菖蒲様…

今も
真つ赤ですよ

ちゅっ



美しく
美しい肌

んんん

ちゅっ

ちゅっ



愛しい菖蒲様と
己はこのような
行為を…

んんん

ちゅっ

ちゅっ

んんん



や…っ
そんなに
吸ってはい

はあ

ちゅっ

ちゅっ

すべてがやわらかい…



はあ

あ

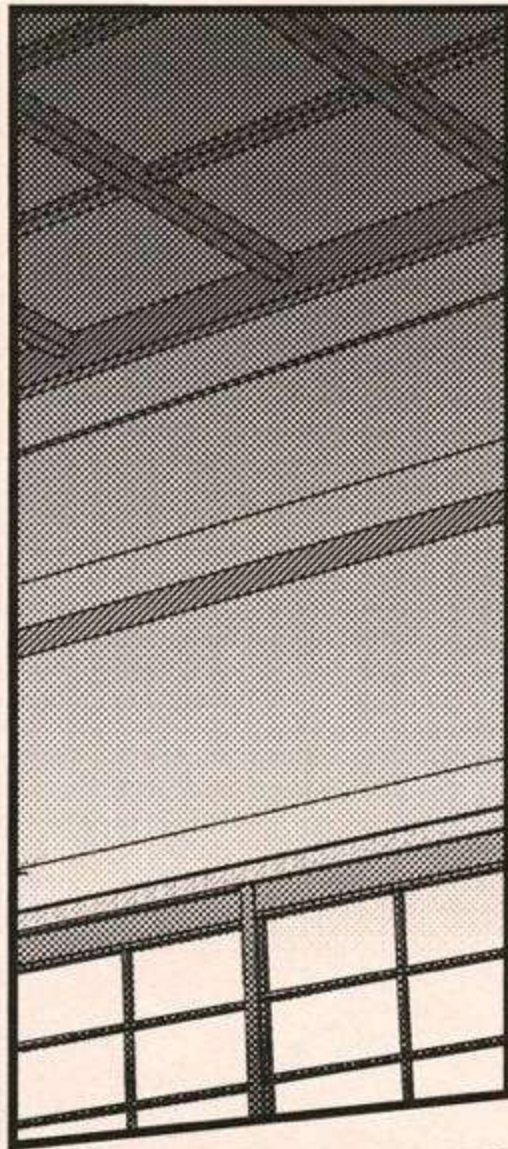
んんん



あ、菖蒲様…
お辛かったら
言ってください…

とつとつ
菖蒲様とつ

だ、大丈夫です



あ、菖蒲様…

来栖…

あやめさま

くるすつ

くわんくわん



己と菖蒲様は
今一つになって

痛くはない
ですか？
菖蒲様…

少しだけ…
でも嬉しい

は、入った
みたいですね

は

はあ

はあ

はあ

ぬふ…

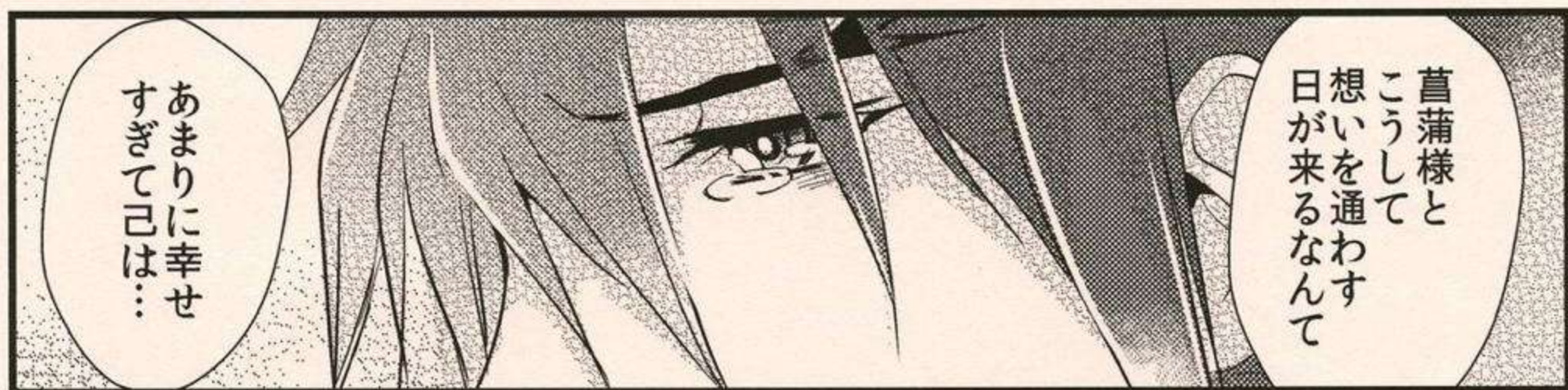


来栖
どうして泣いて
いるのですか？

はっ

ほっ...

ん



菖蒲様と
こうして
想いを通わす
日が来るなんて

あまりに幸せ
すぎて己は...



ところで
なぜ先ほどから
じっとしているの
ですか？



私ですよ
来栖...



菖蒲様の中に
入っている
だけで

き、気持ち
良すぎて...

動けません...

頭金駅に
稲穂が実る頃

己と菖蒲様は
祝言をあげた

甲鉄城の皆に
祝福され

吉備土は
号泣して
いたが

あの静殿まで
あれ程泣くとは
思わなかった

(あと
六頭領も)



菖蒲…

ト井

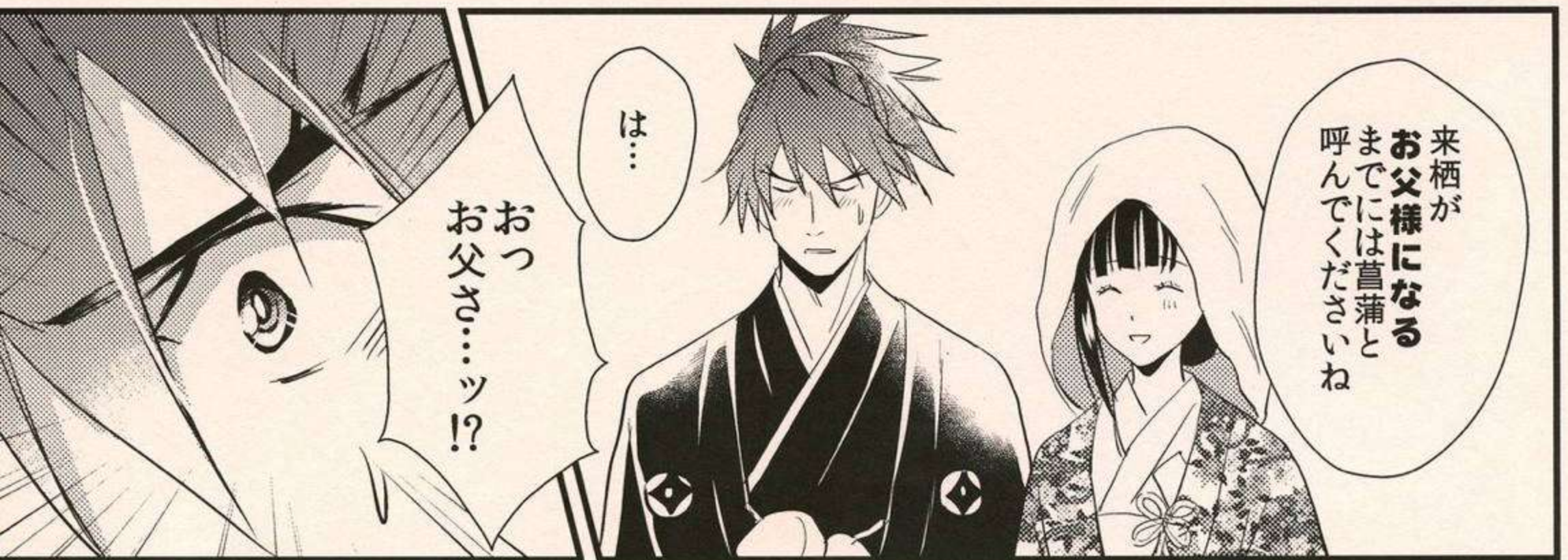


とても
お美しいです

ほそ
ほそ



えまじ…



来栖が
お父様になる
までには菖蒲と
呼んでくださいわね

は…

おっ
おっ
お父さ…ッ!?



来栖を
胴上げだ!

あー

わッ!
待て!
菖蒲様ッ!
それはいいたい…

菖蒲様
アアアッ!

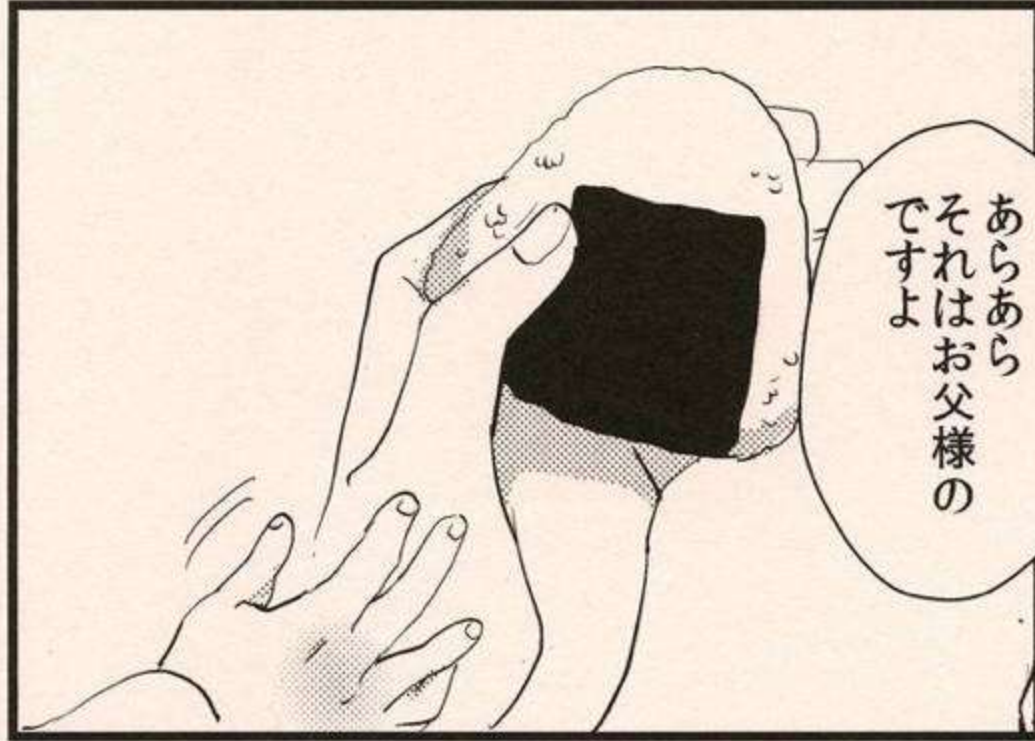
お根清浄!
わっわっ



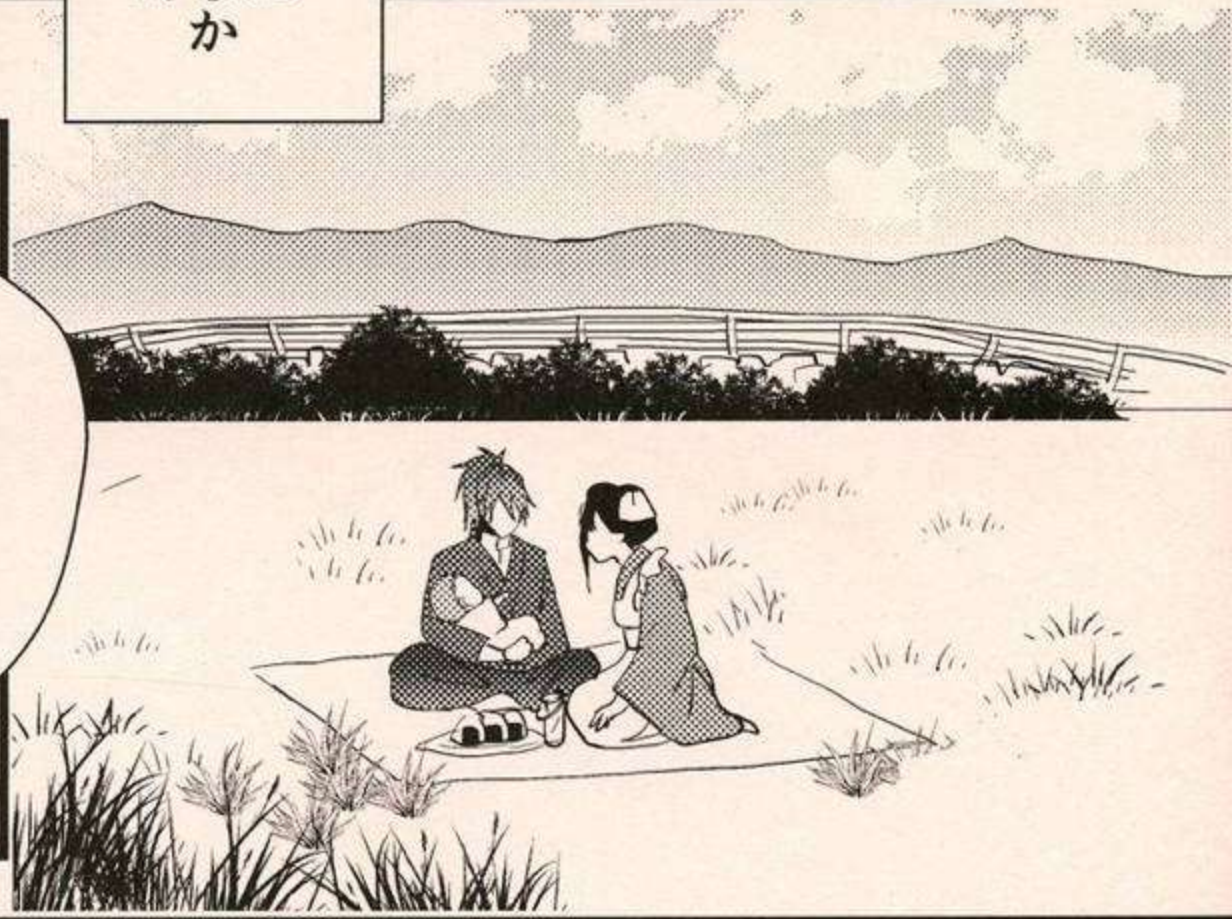


己はいまだに
菖蒲「様」としか
呼べずにいた

そして
季節は
めぐったが



あらあら
それはお父様の
ですよ



腹いっぱい
食べさせて
やるからな



もう少しだけ
大きくなったら
あなたにも
あげましょうね

すべての脅威が
なくなつた
わけではない

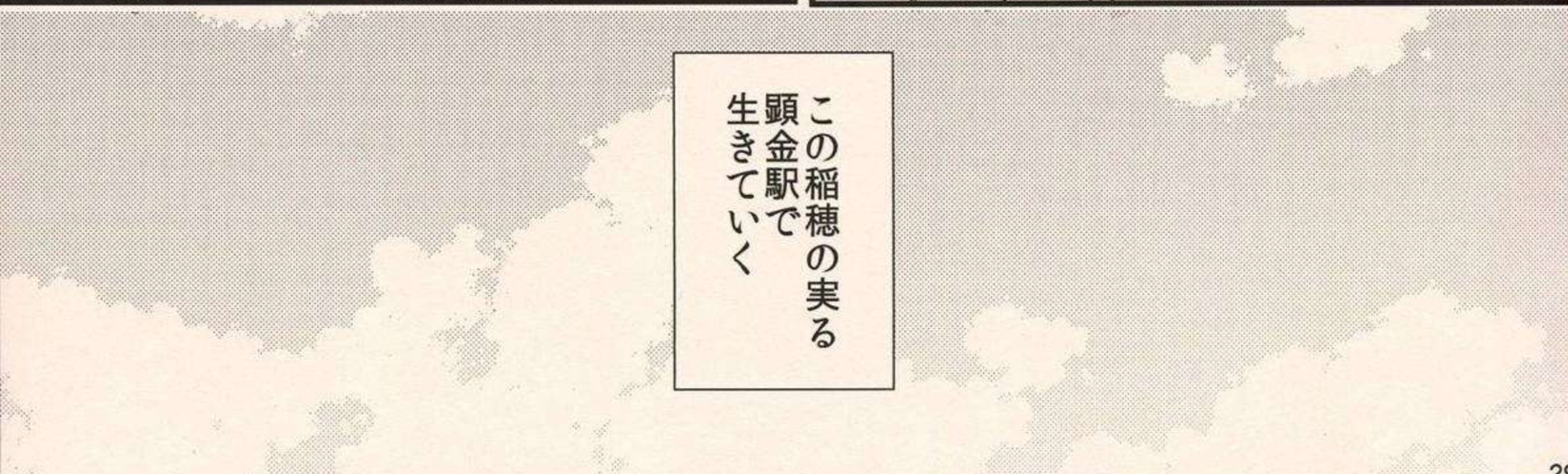
だが己は
この命よりも
大切なものたちを
護りぬき



菖蒲様と共に



この稲穂の実る
頭金駅で
生きていく



己があなたを
かならず
幸せにします





Happy
Ending